

社会教育委員の会議 会議概要

1	審議会名	令和7年度第3回安曇野市社会教育委員の会議
2	日時	令和8年2月27日(金) 午後1時30分から3時まで
3	会場	安曇野市役所 会議室301
4	出席者	猿田みさ子委員(議長)、丸山明男委員(副議長)、坂内不二男委員、望月むつみ委員、土松丞司委員、筒井年恵委員、柿本豊委員、池田安宏委員、佐々木一生委員、三澤正彦委員
5	市側出席者	橋渡教育長、財津生涯学習課長、會田学校教育課課長補佐兼学校教育係長、竹中文化課課長補佐兼文化振興担当係長、逸見文化課博物館担当係長、堀文化課文化財保護係長、奈良澤文化課課長補佐兼図書館係長、山越子ども家庭支援課長、丸山スポーツ推進課長、生涯学習課社会教育係 大蔵
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和8年3月23日

協 議 事 項 等

**会議概要**

- 1 開会 生涯学習課財津課長
- 2 あいさつ 橋渡教育長・猿田議長
- 3 協議事項
  - (1) 令和8年度各課事業方針(案) 及び 令和8年度事業計画(案)について
  - (2) 安曇野市生涯学習リーダーバンク設置要綱の改定(案)について
  - (3) 生涯学習広報誌「Link」編集計画(案)について
  - (4) その他
- 4 閉会 丸山副議長

**協議概要**

- (1) 令和8年度各課事業方針(案) 及び 令和8年度事業計画(案)について  
○各担当より、資料に基づき説明。

**【委員】**

前回、第2回会議資料での文化課8年度事業方針(案)に記載のあった「事業コーディネーターの養成」及び「穂高鐘の鳴る丘集会所における、芸術家と市民との交流を促す事業を企画」が今回の方針(案)から抜けている理由は、

**【事務局】**

担当欠席のため、改めて回答する。

**【委員】**

前回の事業方針案には「新市立博物館運営の基本計画について検討する」とあったが、今回は「新市立博物館の整備や、既存博物館施設の統廃合又は長寿命化に向けた具体的な方向性について検討する」とあり、トーンダウンに感じられるがいかかがか。

**【事務局】**

新市立博物館の基本計画に市の方針を示すには、立地や財政面からの課題も多く、難しいため、改めたもの。

**【委員】**

子ども会育成会について、補助金や保険の支援に加えて、情報交換の場などは設定できないか。

**【事務局】**

地区子ども会育成会の総会等で、語りたい。

**【委員】**

前回の事業方針案では、児童館整備等について、「優先順位をつけて施設整備に取り組む」とあったが、今回案で「6年生までの拡大について検討」となっている。施設整備の方針をうたい込むべきではないか。

**【事務局】**

施設整備については順位をつけて既に計画を進めている。「拡大について検討」に包含している認識であったが、文言について検討する。

**【委員】**

育成会について、PTAの解散などもあり、育成会の担うもの大きくなる。意見交換会や研修会の開催を願う。

**【事務局】**

地区ごとそれぞれの課題があると思われるので、情報交換は必要と考える。また、役員負担軽減のために、名簿集約不要な保険を選べるよう改善を進めている。

**【委員】**

育成会連合会長の立場でお話しします。過去には意見交換の場もありましたが、コロナ禍で途絶えた経過がある。短時間でも実施するなり、育成会だよりを活用するなど、育成会を盛り上げていきたい。

**【事務局】**

生涯学習課の「やさしい日本語での防災教室」、講義だけでなく現地での体験があると伝わりやすいので、検討を。

また、育成会については、地域全体で子どもを育成する意識で、学校、地区も一体になって進めていただきたい。

**【委員】**

7年度事業から廃止になった公民館講座等がみられるが、財政状況が理由か。

**【事務局】**

予算額は、人件費や特例債期間に実施したハード事業も入っているため、7年度より減額となっている。ソフト事業については市の予算方針も踏まえ、計画的に行っている。

**【委員】**

高齢者介護課との共催公民館事業について伺いたい。

**【事務局】**

今までモデル事業的に行っていたが、公民館は高齢者と近く効果が高いため、一層強化した取り組みを行うもの。

**【委員】**

・図書館の、ファースブック、スタートブックについて、家族から感謝の言葉があったことをお伝えする。

・人権教育事業について、予算が大きく減額となった理由は。

**【事務局】**

人権教育推進委員・指導員の会議について、7年度までは地域及び市全体でそれぞれ年2回開催していたが、委員の負担軽減から年1回に変更し、効率的な運営を図ったもの。

**【委員】**

地域ごとに公民館予算の差があることについて伺う。

**【事務局】**

7年度までは、運動会の予算を実行委員会への交付金しておるなど、中央公民館事業に含まれていたものを、各地域公民館一般会計予算に振り分けを行った。そのため、運動会開催の有無などで、予算差が発生している。また、地域の特性や伝統的な事業もあるため、人口比ではなく、事業の内容によって予算を計上している。

**【委員】**

部活動の地域展開は中学生の生活がかわる必要な課題と考えるので、他部署とも連携して取り組んで欲しい。

**【事務局】**

地域展開の振興には地域差もあり方針の一本化ができていない部分がある。担当にも申し伝え、事業方針に盛り込むか検討したい。

**【委員】**

三郷地域では放課後児童クラブの受け入れ拡大が遅れているが、その理由は。

**【事務局】**

施設改修を行い受け入れ人数の拡大を進めたが、新1年生の利用希望が多く、見守りの必要な児童を優先するため、5年生以上の利用に結びつかない。三郷では、学校・児童館・文化公園体育館施設まで使用しているが、大規模校のため追いつかない。

市全体でも、小学校25人学級などで教室が不足することも見込まれることから、豊科南小・豊科北小・穂高南小では新たな施設整備を進めている。

**【委員】**

ANCアリーナについて、駐車場・空調など良い施設であるので、北信越や全国的な大会などで優先体につかえるよう要望する。

**【委員】**

事業計画について、8年度参加予定人数が7年度から16千人増えているが、予算は1億近くが減少している理由は。

**【事務局】**

8年度の人数は、講座の定員や施設のキャパの最大値で、7年度は1月までに全て完了した事業等の実数であるため、差が出ている。

**【委員】**

安心の家について、私も受けているが、現状にあっているのか実情を伺いたい。

**【事務局】**

安心の家は管轄が警察であり、実情は警察にお尋ねいただければわかるかと思えます。なお、警察でも改善見直しを検討していると聞いている、

**【委員】**

安心の家については、切り替え前に警察から電話が入るそうですので、ご確認ください。

**【委員】**

- ・コミュニティースクールについて、HPが以前に比べ見やすくなった。また「Link」もいろいろな情報が載って大分変わってきて良くなってきた。
- ・図書館について、長期休みで安曇野市に来た子どもが貸し出しを受けることは可能か。

**【事務局】**

現在も、市内の方が図書カードを作っていたら、一緒に来られた方にもカードを作っていたら。

**【委員】**

子ども会育成会について、区費を払っていない家の子どもが、区の行事等に参加することについて、どう判断すればよいか。

**【事務局】**

育成会については、区から抜けたお子さんでも受け入れている地域があることも伺っている。子どもの立場に立った育成会となるよう問題提起させていただく。

**【委員】**

子どもの活動について、地域の見守りは大切。わいわいランド等に事業についても、是非職員の方も顔を出していただけると安心。

**【事務局】**

わいわいランドは、令和4年度に生涯学習課から子ども家庭支援課に移管・集約されたが、体制・職員数から頻繁な見回りができず、年度末に巡回している。来年度はもう少し顔を出すことができないか検討したい。

**【委員】**

公民館の建設補助金には冷房設置も対象になるようだが、小さな部屋でも対象としていただけると、活動に助かる。

**【事務局】**

今までは、エアコン設置も修繕・模様替工事として補助の対象としていたが、1度活用すると15年は使用できない。昨今の猛暑と蛍光灯製造販売中止から、エアコン設置とLED化を別項目として設ける改正を検討している。

**【委員】**

ANCアリーナについて、大きな大会の際、アリーナ・サブアリーナの間を、履き替えせずに上履きの行き来することはできるとありがたい。

**【事務局】**

指定管理者に状況を確認した上で、協議したい。

**(2) 安曇野市生涯学習リーダーバンク設置要綱の改定(案)について**

**(3) 生涯学習広報誌「Link」編集計画(案)について**

○関連のため、事務局より資料内容を一括説明。

**【委員】**

社教でもグループ紹介をしているが、ダブることはないか。

**【事務局】**

両方で掲載する団体もあると思うが、人財バンクの活用を目的として運用する。

**(4) その他**

(特になし)

**その他**

**【事務局】**

現在の社会教育委員は今年度で2年の任期が終了となる。

「安曇野市附属機関等の設置および運営に関する指針」には、同一機関の委員は原則6年以内、女性を40%以上との指針があるため、これに基づき、来年度以降の委員について調整をさせていただく。

来年度第1回の会議を6月以降に開催予定のため、4月から5月にかけて、それぞれの委員と連絡をさせていただきたい。